

お手数ですが、お手元のユーザズマニュアルを下記のように変更してお使いください。  
なお、下記の追加コマンドは、TA720のROMバージョンが「1.05」以上でのみ使用可能です。ROMバージョンは、TA720本体のUTILITYキー > [Next 1/2] > [Version]で表示される[Version Information]ダイアログボックスでご確認ください。

#### ●4-28ページ 下記のコマンドを追加

##### **:DISPlay:GTYPe**

機能 グリッドのタイプを設定/問い合わせします。

構文 :DISPlay:GTYPe {NORMal|WINDow}

:DISPlay:GTYPe?

例 :DISPLAY:GTYPE NORMAL

:DISPLAY:GTYPE?

-> :DISPLAY:GTYPE NORMAL

解説 タイムバリエーション表示でグリッドがONのときだけ設定/問い合わせ可能です。

#### ●4-66ページ 下記の2つのコマンドを追加

##### **:SYSTem:TOUT:STATe**

機能 タイムアウト機能の設定/問い合わせします。

構文 :SYSTem:TOUT:STATe {<Boolean>}

:SYSTem:TOUT:STATe?

例 :SYSTEM:TOUT:STATE ON

:SYSTEM:TOUT:STATE?

-> :SYSTEM:TOUT:STATE

##### **:SYSTem:TOUT:TIME**

機能 タイムアウト機能の時間の設定/問い合わせします。

構文 :SYSTem:TOUT:TIME {時間>}

:SYSTem:TOUT:TIME?

例 :SYSTEM:TOUT:TIME 1s

:SYSTEM:TOUT:TIME?

-> :SYSTEM:TOUT:TIME 1.0E+00

解説 タイムアウト機能がONのときだけ設定/問い合わせ可能です。タイムアウト時間は、100ms, 200ms, 300ms, 400ms, 500ms, 600ms, 700ms, 800ms, 900ms, 1s, 2s, 3s, 4s, 5s, 6s, 7s, 8s, 9s, 10sのどれかを設定します。

#### ●5-4ページの「状態レジスタのビット11」の変更(下線部)

ビット11 TOT(Time Out) 測定タイムアウトが起きたときに1になります。